

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-16 環境保全事業				タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1316	環境保全事業	
主管課	環境保全課		関連課	浄化センター		1306	環境保全事業
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	環境基準の達成に努める。公害事案の早期解決。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	9,685千円	12,991千円				
	(国・県)	456千円	455千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	9,229千円	12,536千円				
	人員配置数	3.0人	3.5人				
	人件費	26,624千円	32,494千円				
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	36,309千円	45,485千円	20年度	100%	73%	
	市民1人当 りの経費	206円	258円	21年度	100%	47.1%	
	対象者1人 当りの経費			22年度	100%		
				23年度	100%		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・事業所への苦情については、騒音・悪臭等の感じ方に個人差があり、早期の解決が難しい場合がある。個人への苦情については、直接法令による規制ができない例が多い。					
	創意・工夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・事業所への苦情については、毎月実施している公害パトロールで現状を確認して指導を行っている。個人への苦情については、当課で事情を伺うとともに、解決が困難な場合には、市民相談課や神奈川県公害等調整委員会へ問題解決の引継を行った。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・事業所への苦情については、騒音・悪臭等の感じ方に個人差があり早期の解決が難しい場合がある。個人への苦情については、直接法令による規制ができない例が多い。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・事業所への苦情に対しては、早期の解決ができるよう対応を検討していく。個人への苦情の対応については、法令に基づく指導等の対象とならない場合が多いため他市の対応例などの情報を収集して適切に対応していく。また、平成22年度に神奈川県生活環境の保全等に関する条例の改正が予定されており、その中に現在指導が難しい事案に対応が少しでもできるように要望をしていく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性	
B	無	公害関係等の対応については、様々なケースを研究する中で、公害の早期発見や苦情の早期解決に努める。			B	無	環境保全(公害対策)については、公害を起こさないという視点を持って事業者の啓発に努める。
課長名		黒岩弘之			部名・部長名		環境部 相澤 千香子